

第3回休眠預金等活用審議会 ワーキンググループ 提示資料

2020年2月17日(月)



一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

実行団体の公募状況①



事業分類	公募終了	公募中	準備・調整中
草の根活動支援事業 (全国ブロック)	5 事業	2 事業	
草の根活動支援事業 (地域ブロック)	5 事業	3 事業	
新規企画支援事業	2 事業	1 事業	
ソーシャルビジネス形 成支援事業			2 事業
災害支援事業	1 事業	3 事業	
合計	13 事業	9 事業	2 事業

2020年2月12日時点で、公募終了は13事業、公募中は9事業、準備・調整中は2事業

実行団体の公募状況②



公募終了の事業

- ・長野県みらい基金（1団体あたりの助成額 600～920万円程度／募集数 7団体）→ 18団体の応募あり
- ・RCF（1団体あたりの助成額 最大1,000万円程度／募集数 1～4団体程度）→ 9団体の応募あり

2月7日に公募選定結果を公開（1団体、順次公表する予定）

※申請9団体の団体名称、事業名、事業概要もHPに掲載済み

公募中の事業

- ・公募説明会が盛況となった事業がある一方で、説明会参加団体が少なく、申請件数も少ない団体もあることから、各資金分配団体とは連携し、適正な公募実施につながるように留意していく

準備・調整中の事業

- ・準備が整い次第公募開始予定

マスメディアでの休眠預金活用事業の記事掲載等

- オルタナ(12/27) ○朝日新聞 (1/4) ○日本経済新聞 (1/5)
- 福祉新聞 (1/6) ○公明新聞 (1/8)

実行団体の公募状況③



草の根活動支援事業 15団体15事業

全国ブロック（団体名）	（事業名）	公募状況
公益財団法人お金をまわそう基金	医療的ケア児と家族の夢を寄付で応援	公募中(～2/14)
社会福祉法人中央共同募金会	当事者会のピアサポート支援事業	公募中(～2/9)
更生保護法人日本更生保護協会	安全・安心な地域社会づくり支援事業	公募終了(1/15)
公益財団法人日本対がん協会	がん患者支援などの事業	公募終了(1/31)
公益財団法人パブリックリソース財団	子ども支援団体の組織基盤強化	公募中(～2/3)
公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団	障害児等の体験格差解消事業	公募終了(1/31)
認定特定非営利活動法人まちぽっと	市民社会強化活動支援事業	公募終了(1/20)
地域ブロック（団体名）	（事業名）	
一般財団法人大阪府地域支援人権金融公社	ひと・まち・げんき助成	公募中(～2/17)
公益財団法人佐賀未来創造基金	人口減少と社会包摂型コレクティブインパクト事業	公募終了(1/31)
公益財団法人信頼資本財団	孤立状態の人につながりをつくる	公募終了(1/31)
一般財団法人中部圏地域創造ファンド	NPOによる協働・連携構築事業	公募中(～2/3)
公益財団法人長野県みらい基金	地域支援と地域資源連携事業	公募終了(1/24)
特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業	公募中(～2/28)
一般社団法人北海道総合研究調査会	北海道未来社会システム創造事業	公募終了(1/15)
公益財団法人みらいファンド沖縄	沖縄・離島の子ども派遣基金事業	公募中(～2/20)

実行団体の公募状況④



新規企画支援事業 3団体3事業

(団体名)	(事業名)	公募状況
特定非営利活動法人エティック	子どもの未来の為の協働促進事業	公募中(～3/2)
一般社団法人全国食支援活動協力会	こども食堂サポート機能設置事業	公募終了(1/31)
公益財団法人日本国際交流センター	外国ルーツ青少年未来創造事業	公募中(～2/4)

ソーシャルビジネス形成支援事業 2団体2事業

(団体名)	(事業名)	公募状況
一般財団法人 社会変革推進財団 (旧) 一般財団法人社会的投資推進財団	地域活性化 ソーシャルビジネス成長支援事業	調整中
公益財団法人パブリックリソース財団	支援付住宅建設・人材育成事業	準備中

災害支援事業 4団体4事業

(団体名)	(事業名)	公募状況
特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム	質の高い継続的な被災地支援	公募中(～2/28)
特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク	中核的災害支援ネットワーク構築	公募中(～3/14)
社会福祉法人中央共同募金会	災害時要支援者緊急支援事業	公募中(～2/16)
一般社団法人RCF	大災害後の生活再建推進事業	公募終了(2019/12/26)

2020年度に向けて①



2020年度以降に向けて資金分配団体の担い手となる団体・組織の掘り起こしが急務であり以下の対応を実施中です

・ 2019年度採択には至らなかった団体に対するフォローアップ

今年度申請があったものの、採択には至らなかったすべての団体に対して、フォローアップの申し入れをJANPIAから実施、現在9団体との意見交換を実施済み

・ 選定申請団体がなかった地域へのアプローチ

- ・ 北陸エリア（地域ブロックでの公募申請がなかった）など、県庁NPO担当等への働きかけ等
- ・ 各地のNPOセンター等中間支援組織、全社協等への協力要請の実施
- ・ 今年度採択された資金分配団体との連携・協働による資金分配団体の新たな担い手の掘り起こし

・ 企業財団等へのアプローチ

- ・ 助成実績や人的リソースが豊富、組織基盤も安定している企業財団等への個別に申請を働きかけ
※ 8団体と面談・意見交換済み

・ 企業セクターとの連携

- ・ 経団連1%クラブのメンバー企業との協働等に向けた説明の実施(11/20)
→ 資金分配団体、実行団体への自己資金確保等に向けたリソースマッチングをサポートしていく

資金分配団体のプログラムオフィサー育成に対する支援の状況

11月～12月開催（計5日間）研修～2つの目的に対する評価等

目的① 知識とスキルの取得

⇒参加者の助成実務の経験・レベル感は様々で、研修コンテンツ設計等の難易度が高かったが、受講生からの各講座の平均理解度は7.9(10点満点)であり、知見とスキルの習得には一定の効果あったと思料

目的② 継続的な相互の学びと意見交換につなげること

⇒研修内のワークショップ、グループ討議等を通じて、各団体のプログラム・オフィサーの「想い」の共有、資金分配団体同士で知見と経験を共有していく雰囲気を醸成することができた

【研修に関する主な改善点】

- ・参加者の知見やスキルのレベルへの配慮、研修内容の構成、理解の促進に向けた工夫が必要
⇒参加者自身の事例発表による相互の学びの促進
⇒座学研修とワークショップの組み合わせの強化
⇒オンラインコンテンツによる事前学習との組み合わせによる効率化、など
- ・登壇者の講義内容の一貫性や重複回避、また他の助成と休眠預金制度との違いについてより分かりやすい説明や工夫等

これら課題を整理し次年度も有用なコンテンツによる研修の継続実施や、資金分配団体POのコミュニティづくりに資する会合等のセッティングや、オンラインによる意見交換の場の提供など行っていく。

2020年度に向けて～休眠預金助成システムの継続開発①



<2019年度>

・公募システム及び休眠預金助成システムの開発

①公募書類の受付 ②資金分配団体の契約及び助成金の管理 ③実行団体公募要領の登録 ④実行団体の契約及び助成金の管理を可能とする助成活動全般をサポートするベーシックな機能整備が完了した。

→ これらの機能のうち一部はすでに活用中であり、今後助成事業の進捗に合わせて順次資金分配団体、実行団体、JANPIA双方向での利活用を促進、併せて利用者目線での改善も実施。

<2020年度>

・更なる発展に向けた継続開発

- ①公募システムへの審査支援機能等追加、②実行団体向け公募システムの検討及び開発、②休眠預金助成システムへ資金分配団体及び実行団体を実施する事業の進捗、評価を報告する機能等の追加
- ③作成ガイド機能付きの事業計画、評価計画画面を開発して、入力しながら学べるようにする。
→ 助成活動全般をワンストップでのサポートを実現するための機能拡充へ…
- ④休眠預金活用事業全般の情報公開の窓口としてのポータルサイトを新設、助成システムと連動。
※AIの活用、リソースマッチング、様々な情報の集約化やそれらを統計データとして利活用する可能性についても検討に着手

2020年度に向けて～休眠預金助成システムの継続開発②



JANPIA・資金分配団体・実行団体の業務効率化を実現するとともに、社会課題解決のための自律的・持続的な仕組みの整備に寄与するシステムを開発する。

		2019年度	2020年度				2021年度
			1Q	2Q	3Q	4Q	
業務スケジュール	公募・審査	公募 審査 契約 実行団体の公募・契約	公募	審査	契約	実行団体の公募・契約	
	進捗管理・伴走支援・評価		事前評価		進捗報告		
システム開発スケジュール	公募システム (資金分配団体)	①申請受付機能		③審査支援機能 ④外部公開機能			
	公募システム (実行団体)				(資金分配団体のニーズに応じて機能を検討)		
	助成システム	①資金分配団体の契約・助成金交付の管理機能 ・資金分配団体の事業計画、資金計画管理 ・資金分配団体との契約、助成金管理機能 ②実行団体の公募・契約・助成金交付の管理機能 ・公募要領管理 ・実行団体の事業計画、資金計画管理 ・実行団体との契約、助成金管理		③資金分配団体及び実行団体が事業の進捗、評価結果等を報告する機能 ④各種計画類を公表できる機能			
	リソースマッチングシステム		構想策定			システム要件定義	システム構築
	情報集約化や統計データとしての利活用		構想策定				システム要件定義・構築